第４回大分市消防局基本計画検討委員会議事録

１．日　時　令和３年１０月２８日（木）

２．場　所　大分市消防局４階　講堂

３．出席者

【委員】（計５名）

日本文理大学　人間力育成センター長	髙見　大介
大分県立看護科学大学　基礎看護学助教	石丸　智子
大分市防災協会　会長	安藤　暢啓
大分市消防団　東部師団長兼第２方面隊長	得丸　昭一
大分県消防学校　教頭	緒方　信幸

【事務局】（計３人）

消防局総務課（参事補）秦　陽一郎　（主査）安藤　奨悟　（局員）丸山　修輝

【プロジェクトチーム】（計１３人）

消防局総務課	（課長）	阿部　一也	（参事）	定野　浩之
	（参事補）	内田　喜久	（参事補）	村上　利幸
	（参事補）	芦刈　崇英		
警防課	（参事補）	川上　和宏	（主査）	片島　修二
	（局員）	冨髙　悠紀	（局員）	坂本　大輔
予防課	（参事補）	渡邉　哲也	（主査ＧＬ）	松岡　辰倫
通信指令課	（主査ＧＬ）	柴﨑　道夫		
救急救命課	（主査ＧＬ）	堤　裕之		

《欠席》　**【委員】**大分市ＰＴＡ連合会　会長　平本　泉

４．次　第

（１）　開会

（２）　議題１「第３回検討員会（書面会議）の結果
　　　　及び素案修正版その２に関する説明」

（３）　議題２「委員の皆さまからの提言のまとめ（提言書の作成）」

（４）　議題３「その他（今後のお知らせ等）」

（５）　閉会

第４回大分市消防局基本計画検討委員会

発言者	発言内容
秦参事補	ただいまから、令和３年度第４回大分市消防局基本計画検討委員会を開会いたします。 これまで、計３回の検討委員会を実施し、委員の皆さまには、大変貴重なご意見・ご質問を賜り、誠にありがとうございました。 今回の開催におきましては、現在、大分県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いていることをふまえ、また、素案修正版の最終確認の場とし、これまでの会議における皆さまからの提言を最終的にまとめるため、通常開催といたしました。 なお、平本委員におきましては、本日所用があり、欠席となっております。平本委員の今委員会に関する権限につきましては、髙見委員長を代理人として、一切の権限を委任する旨の委任状をいただき、髙見委員長に提出しておりますので、併せて報告いたします。 それでは、議題の方に入りたいと思います。 ここから先の議事進行は、髙見委員長よりお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
髙見 委員長	それでは、議事を進行いたします。 議題１「第３回検討委員会（書面会議）の結果及び素案修正版その２に関する説明」について、事務局から説明をお願いします。
秦参事補	前会議で委員の皆さまからのご意見について整理しましたので、その内容を報告させていただきます。 それでは、案内別紙３「事前質問等様式（第３回結果)」をご覧ください。 第３回消防局基本計画の書面会議の結果について、説明いたします。 案内別紙３をご覧ください。事前質問様式にて石丸副委員長から３つのご意見をいただきましたので、それについて、修正したところを報告いたします。 まず１つ目のご意見ですが、基本計画素案の１２ページをご覧ください。 第１章「火災予防の推進」の中段にあります、「現状と課題に関する統計」についてご意見をいただきました。１７ページある「大分市の危険物施設数の推移及び火災発生件数の推移」のグラフをこちらに掲載した方が分かり易いのではというご意見をいただきました。

秦参事補	ご指摘のとおり、この節の内容にあったグラフに修正し掲載しております。 続いて２つ目のご意見ですが、基本計画素案の２５ページをご覧ください。 第２章「消防体制の充実」の消防局が保有している「ドローン」の説明がないので、一言入れた方がいいのではというご意見をいただきました。 ご指摘のとおり、「ドローン」の写真の上に「大分市消防局では、無人飛行機運用要綱及び飛行マニュアルを策定するとともに、２０１７（平成２９）年度から運用を開始し、現場活動における情報収集や偵察など、さまざまな場面で活用しています。」という説明を掲載いたしました。 続いて３つ目のご質問ですが、各論全体の「現状と課題に関する統計」のグラフについて、「けしモン」の言葉に、そのデータに対して最も説明したい一言を入れた方がいいのでは、という質問をいただきました。 ご指摘のとおり「けしモン」の吹き出しに統計やグラフに対するポイントのコメントをそれぞれ変更し、記載いたしました。ご確認をお願いいたします。 事前質問についての修正報告は以上となります。
髙見 委員長	事務局の説明で、委員の皆さまから何かご意見・ご質問はありますでしょうか。 【意見・質問等なし】 意見等がないようですので、次の議題に移ります。 議題２「委員の皆さまからの提言のまとめ（提言書の作成）」について、事務局から説明をお願いします。
秦参事補	これまでの委員会で賜りました委員の皆さまのご意見を、提言書としてまとめたいと思います。この提言書は、来年印刷予定の本計画の冊子に、資料編として掲載させていただきます。 提言書の作成におきましては、これまでの皆さまのご意見を事務局でまとめ、提言書の案となる資料を元に、髙見委員長、石丸副委員長の両名に監修していただきました。 それでは、これから髙見委員長に発表していただき、委員の皆さまにその内容を確認していただきたいと思います。

髙見 委員長	事務局の説明のとおり、これから私が提言書案を読み上げますので、委員の方々はその内容を確認し、審議していただいた後、最終的に提言書を完成させたいと思います。 <u>「別紙　消防局基本計画（庁外）検討委員会提言書」参照</u> 以上となります。 それでは、この提言書案について、委員の皆さまから何かご意見・ご質問はありますでしょうか。 【意見・質問等なし】 意見等がないようですので、この内容を本委員会の提言書とし、事務局に提出したいと思います。事務局は、この提言を真摯に受け止め、これから先も続いていく大分市消防局基本計画に活かし、市民の皆さまに安全・安心を届けていただきたいと思います。 それでは、次の議題に移ります。 議題３「その他、今後のお知らせ等」について、事務局から説明をお願いします。
秦参事補	今後の本計画の予定について、お知らせいたします。 今委員会をもちまして、大分市消防局基本計画検討委員会は、終結とさせていただきます。これまで審議していただいた本計画素案は、先ほど審議していただきました皆さまからの提言書を追加し、これ以降は「大分市消防局基本計画原案」として、１２月からの１ヵ月間パブリックコメントを実施いたします。 このパブリックコメントにて、市民の皆さまに本計画を知っていただき、ご意見・ご質問を受け賜わります。この結果については、委員の皆さまに報告したうえ、本市ホームページにも掲載し、市民の皆さまに周知したいと思います。 皆さまへの報告は、１月以降メールにて行いますので、その際は、お手数ですがご確認と、もしご意見等をいただけるならご連絡をお願い申し上げます。 その後は、本計画原案を計画として策定し、市長・副市長への策定報告、３月議会での議員への策定説明を実施した後、４月１日から施行いたします。 以上となります。

髙見 委員長	それでは、以上を持ちまして全ての議事を終了しましたが、最後に委員の皆さまから一言ずついただきたいと思います。 まずは、私からよろしいでしょうか。 今回このような大役を仰せつかり、身が引き締まる思いで挑んできました。 初めてこの建物に入り、消防団の纏が格好良いと思いました。 新型コロナウイルスの影響で、近年はなかなか行くことができていませんが、職業柄学生を連れて海外に行くことが多いです。海外の方に日本の印象を聞くと、伝統主義とよく言われます。その伝統主義という言葉は、あまり好意的な言葉ではないですが、伝統主義という言葉でくくられることがあります。 私が考える伝統主義は、２つあると考えています。 １つは、これまで古くから続いている文化を大切に継承し、思いを未来に繋げていく、とても重要な意味合いで使われています。 もう１つは、悪い形で使われています。昨日良かったから今日もいいだろう、明日もそのままでいいだろうというような伝統主義と、海外の方に映っているのだと思います。 先ほどの提言書の話にもあったように、災害とは予想ができない大きなものであったり、甚大な被害であったり、いつ起こるかわかりません。そのような中で、昨日良かったから今日もそのままでいいだろうという伝統主義を、いかにして捨てるかを職員だけでなく、市民一人ひとりが考えられるようになればいいと痛感しました。 とても勉強になりました。ありがとうございました。
石丸 副委員長	私は前職、県立病院の救急の現場で働いていました。言葉を交わすことは少なかったですが、救急隊の方々が真摯に活動されていました。 今回このような基本計画の立案に携わらせていただき、消防隊や救急隊の方が、現場で少しでも働きやすくなることで、市民の方々が安心して暮らせることに繋がると思いました。今回の計画が、さらに具体的な活動に繋がっていけばいいなと思いました。
安藤委員	防災協会の会長をしています安藤です。防災のことに関して、どういう活動をしているかは分かっていましたが、今回このような委員会に参加し、見聞きすることで、委員として考えさせられました。資料を見て、かなり細かいところまで検討されていて、さすがだなと思いました。 また、色々な角度や視点から内容が取り入れられていて、参考になりました。貴重な時間であったと思います。消防の方も、色々なことを考えながら運営されているのだなと改めて感じました。

安藤委員	引き続き頑張っていただきたいと思います。
得丸委員	先ほど言われたように、纏を伝承しているのですが、なかなか披露するところがなく、また新型コロナウイルスの影響で、訓練しづらい状況です。 コロナが落ち着いてきているので、来年は、消防団として訓練に力を入れて、消防局の皆さんの力を借りて努力していきたいと思います。 よろしくお願いします。
緒方委員	まず、事務局の皆様へ、この度は委員に選出していただき、ありがとうございます。 私は、消防関係者に近い立ち位置でしたので、委員の方々が理解できるように気をつけてきましたが、分かりにくい点もあったと感じており、申し訳なく思います。 一番考えている事は、災害対応が大規模化になってきていることと、その対応には多くの人が必要ということです。 大分県内の代表消防局である大分市消防局は、それを発揮するために相応しい組織の充実・強化を図っていただいて、大分市民のために活躍していただくことが大事だと思います。委員をさせていただきまして、いろんな方面から意見を聞き、大変勉強になりました。今後も消防学校を使うことがありましたら、ぜひ協力させていただきたいと思います。 ありがとうございました。
髙見 委員長	ありがとうございました。各委員から、とても貴重な時間であったとのお言葉をいただき、私自身もそう思います。議事は終わりになりますが、これで終わりにするのではなく、今後も大分市の消防業務に対して、良いところは良い、改めるべきところは改めるというように注意深く観察し、一番の応援隊であり続けたいと思います。 以上を持ちまして、全ての議事が終了となりますので、進行を事務局にお返ししたいと思います。
秦参事補	髙見委員長、議事進行、誠にありがとうございました。 また、委員の皆さまは、これまで全４回の検討委員会におきまして、大変貴重なご意見・ご質問を賜り、誠にありがとうございました。 それでは、以上をもちまして、令和３年度第４回大分市消防局基本計画検討委員会を閉会いたします。 これまで、誠にありがとうございました。